



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社  
 コード番号 4547 URL <https://www.kissei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 神澤 陸雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務管理部長 (氏名) 北原 孝秀 (TEL) 0263-25-9081  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	31,548	△11.5	2,334	△45.1	2,857	△39.1	2,150	△35.6
2019年3月期第2四半期	35,665	△2.5	4,252	3.3	4,693	△9.3	3,337	△22.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 5,782百万円(△47.2%) 2019年3月期第2四半期 10,944百万円(14.5%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第2四半期	46	04	—	—
2019年3月期第2四半期	71	44	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2020年3月期第2四半期	220,909		187,322		84.6	3,999	52	
2019年3月期	213,522		182,707		85.4	3,901	49	

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 186,843百万円 2019年3月期 182,263百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	26.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	62,000	△14.2	1,500	△75.8	2,700	△62.3	2,900	△47.1	62	08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	51,811,185株	2019年3月期	51,811,185株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	5,094,754株	2019年3月期	5,094,806株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	46,716,405株	2019年3月期2Q	46,716,432株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会資料の入手方法)

決算補足説明資料は、決算短信とあわせて当社ホームページに掲載しています。また2019年11月7日(木)に証券アナリスト・機関投資家向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
3. その他 .....	13
(1) 販売実績 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、企業間での市場競争が激化するなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、企業におけるIT投資及び設備投資意欲に改善傾向が見られるものの、足元の景気は個人消費を中心に力強さに欠け、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	増減率 (%)
売上高(百万円)	35,665	31,548	△11.5
営業利益(百万円)	4,252	2,334	△45.1
経常利益(百万円)	4,693	2,857	△39.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	3,337	2,150	△35.6

## ・売上高（医薬品事業）の状況

医薬品事業の売上高は、26,557百万円（前年同期比11.4%減）となりました。主力製品における積極的な医薬情報活動を推進いたしましたことなどにより、高リン血症治療薬「ピートルチュアブル錠」及び「ピートル顆粒分包」、過活動膀胱治療薬「ベオーバ錠」、糖尿病治療薬「グルベス配合錠」及び本年6月に新発売いたしました「グルベス配合OD錠」（剤形追加）などの売上が増加いたしました一方、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ錠」及び「ユリーフOD錠」の後発品の発売による売上の減少などにより、減収となりました。また、本年6月にフェリング・ファーマ株式会社との間で、日本国内におけるコ・プロモーション契約を締結いたしました男性における夜間多尿による夜間頻尿治療薬「ミニリンメルトOD錠25μg、同OD錠50μg」は、9月に新発売され、両社にて医薬情報活動を実施しております。なお、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名ユリーフ）は、アメリカでは特許満了に伴い後発品が発売されておりますが、欧州・中東・アフリカなどにおける技術導出先でありますレコルダッチ社（イタリア）では、当連結累計期間におきましても引き続き許諾地域内において製品育成を進めております。

## ・売上高（情報サービス事業）の状況

情報サービス事業の売上高は、3,225百万円（前年同期比34.0%増）となりました。情報機器レンタルにおきまして増収となったことなどによります。

## ・売上高（その他の事業）の状況

その他の事業の売上高は、1,765百万円（前年同期比46.0%減）となりました。物品販売業で増収となりましたものの、建設請負業におきまして減収となったことによります。

## ・利益の状況

利益面では、研究開発費を主に販売費及び一般管理費が減少いたしました一方、減収及び売上原価率の上昇がありましたことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

## ・研究開発の状況

昨年9月に当社との共同開発先でありますJCRファーマ株式会社より承認申請が行われました腎性貧血治療薬ダルベポエチン アルファ（一般名）のバイオ後続品JR-131（開発番号）につきましては、本年9月の製造販売承認を受け、当社では薬価基準収載後に製品名「ダルベポエチン アルファBS注JCR」にて販売を開始するための準備を進めております。また、ライジェルフーマシューティカルズ社（アメリカ）との間で、日本・中国・韓国・台湾における独占的な開発権及び販売権取得に関する契約を締結いたしました慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬R788（開発番号、一般名：ホスタマチニブ）につきましては、この度、国内第Ⅲ相臨床試験を開始いたしました。なお、脊髄小脳変性症治療薬KPS-0373（開発番号、一般名：ロバチレリン）につきましては、第Ⅲ相臨床試験を終了し、これまでの試験により得られた結果について重症度による部分集団解析などの詳細な検討を行うとともに、当局との協議を進めております。

(2) 財政状態に関する説明

・資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は220,909百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,387百万円増加いたしました。流動資産は受取手形及び売掛金などが減少いたしました。現金及び預金などが増加いたしましたことなどにより、2,323百万円増加し98,106百万円となりました。固定資産は投資有価証券の増加などにより、5,063百万円増加し122,803百万円となりました。

・負債の状況

当第2四半期連結会計期間末の負債は33,587百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,772百万円増加いたしました。流動負債は、「その他」に含まれる前受金、未払法人税等が増加いたしましたことなどにより、1,087百万円増加し14,888百万円となりました。固定負債は繰延税金負債の増加などにより1,685百万円増加し、18,698百万円となりました。

・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産は187,322百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,614百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加いたしましたことなどによりです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の85.4%から84.6%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より9,544百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末では58,859百万円（前連結会計年度末比19.4%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益の減少、たな卸資産の増加など資金減少要因がありましたが、売上債権、法人税等の支払額の減少などが資金増加要因となり、前年同期に比べ4,084百万円増の11,989百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出、長期前払費用の取得による支出の減少などにより、前年同期に比べ228百万円支出減の1,238百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ44百万円支出増の1,205百万円の支出となりました。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

医薬品業界におきましては、後発品使用促進策等の医療費抑制策の影響を受け、引き続き厳しい経営環境下にあります。また、その他の事業におきましても、景気回復への足取りが鈍く依然として厳しい業界環境が継続するものと予想されます。現時点での2020年3月期の連結業績見通しにつきましては、以下のとおりです。

## 連結業績見通し

	2019年3月期実績	2020年3月期見通し	対前期増減額	増減率(%)
売上高(百万円)	72,297	62,000	△10,297	△14.2
営業利益(百万円)	6,202	1,500	△4,702	△75.8
経常利益(百万円)	7,169	2,700	△4,469	△62.3
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	5,481	2,900	△2,581	△47.1

## ・売上高

当初見通しより600百万円増額の62,000百万円(前年度比14.2%減収)に修正いたします。

第2四半期連結累計期間の業績ならびに現況を加味した見直しを行いました結果、医薬品事業におきましては据え置き、情報サービス事業におきましては800百万円の増額、その他の事業におきましては200百万円の減額といたしました。

## ・利益

第2四半期連結累計期間におきましては、当初計画と比べ、売上高はほぼ同等でありましたが、売上原価率が上昇しました一方で販売費及び一般管理費が下回りましたことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は当初見通しを上回りました。年度後半では、売上原価率について当初計画からの上昇を見込んでおります一方、販売費及び一般管理費はほぼ同額を見込んでおります。

通期の利益見通しにつきましては、営業利益は当初見通しより500百万円増額の1,500百万円(前年度比75.8%減益)、経常利益は当初見通しより500百万円増額の2,700百万円(前年度比62.3%減益)、親会社株主に帰属する当期純利益は当初見通しより200百万円増額の2,900百万円(前年度比47.1%減益)の見通しであります。なお、年度後半の営業外損益ならびに特別損益におきましては、投資有価証券売却益として1,600百万円を特別利益として見込んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,325	35,864
受取手形及び売掛金	26,963	19,391
有価証券	23,039	23,039
商品及び製品	5,847	5,568
仕掛品	857	1,888
原材料及び貯蔵品	7,259	6,508
その他	5,491	5,847
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	95,782	98,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,691	38,694
減価償却累計額	△28,754	△29,000
建物及び構築物（純額）	9,937	9,694
土地	12,716	12,681
その他	16,088	16,398
減価償却累計額	△13,238	△13,766
その他（純額）	2,849	2,632
有形固定資産合計	25,503	25,007
無形固定資産	1,519	1,475
投資その他の資産		
投資有価証券	86,958	92,313
繰延税金資産	644	590
その他	3,164	3,457
貸倒引当金	△50	△42
投資その他の資産合計	90,716	96,319
固定資産合計	117,739	122,803
資産合計	213,522	220,909

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,347	3,909
短期借入金	1,764	1,754
未払法人税等	465	649
賞与引当金	1,971	1,842
その他の引当金	496	423
その他	4,756	6,309
流動負債合計	13,801	14,888
固定負債		
長期借入金	1,930	1,922
繰延税金負債	11,388	13,268
役員退職慰労引当金	157	166
退職給付に係る負債	2,750	2,606
資産除去債務	116	117
その他	668	618
固定負債合計	17,013	18,698
負債合計	30,814	33,587
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,226	24,226
利益剰余金	106,026	107,009
自己株式	△11,607	△11,607
株主資本合計	143,001	143,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,326	43,862
退職給付に係る調整累計額	△1,065	△1,003
その他の包括利益累計額合計	39,261	42,858
非支配株主持分	444	478
純資産合計	182,707	187,322
負債純資産合計	213,522	220,909

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	35,665	31,548
売上原価	13,513	12,862
売上総利益	22,151	18,686
返品調整引当金戻入額	22	17
返品調整引当金繰入額	15	5
差引売上総利益	22,157	18,698
販売費及び一般管理費	17,905	16,364
営業利益	4,252	2,334
営業外収益		
受取利息	13	23
受取配当金	581	591
為替差益	—	1
その他	44	62
営業外収益合計	639	678
営業外費用		
支払利息	11	11
有価証券評価損	170	122
為替差損	6	—
その他	9	20
営業外費用合計	198	155
経常利益	4,693	2,857
特別利益		
固定資産売却益	—	27
投資有価証券売却益	1	1
特別利益合計	1	28
特別損失		
固定資産処分損	2	16
減損損失	49	—
特別損失合計	51	16
税金等調整前四半期純利益	4,643	2,870
法人税、住民税及び事業税	379	403
法人税等調整額	915	286
法人税等合計	1,294	690
四半期純利益	3,348	2,179
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,337	2,150

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,348	2,179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,507	3,539
退職給付に係る調整額	88	63
その他の包括利益合計	7,595	3,603
四半期包括利益	10,944	5,782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,931	5,747
非支配株主に係る四半期包括利益	13	34

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,643	2,870
減価償却費	1,256	1,234
減損損失	49	—
引当金の増減額 (△は減少)	△297	△192
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△139	△53
受取利息及び受取配当金	△595	△614
支払利息	11	11
為替差損益 (△は益)	△2	1
有価証券評価損益 (△は益)	170	122
固定資産売却損益 (△は益)	—	△27
固定資産処分損	2	16
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△1
売上債権の増減額 (△は増加)	2,459	7,571
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,719	△0
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	338	△471
仕入債務の増減額 (△は減少)	△244	△438
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	244	1,939
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	1	△101
その他	△16	6
小計	9,601	11,873
利息及び配当金の受取額	540	558
利息の支払額	△11	△11
法人税等の支払額	△2,225	△430
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,904	11,989
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△38	△38
定期預金の払戻による収入	42	44
特定金銭信託の払戻による収入	80	97
有形固定資産の取得による支出	△663	△504
有形固定資産の売却による収入	150	62
無形固定資産の取得による支出	△106	△174
投資有価証券の取得による支出	△305	△202
投資有価証券の売却及び償還による収入	66	7
貸付けによる支出	△73	△61
貸付金の回収による収入	50	83
長期前払費用の取得による支出	△638	△501
その他	△32	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,467	△1,238

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	20	—
長期借入金の返済による支出	△17	△18
リース債務の返済による支出	△41	△19
配当金の支払額	△1,121	△1,167
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の売却による収入	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,160	△1,205
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,279	9,544
現金及び現金同等物の期首残高	47,360	49,315
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,640	58,859

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	医薬品	情報サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,985	2,407	32,393	3,271	35,665
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	772	772	1,416	2,188
計	29,985	3,180	33,165	4,688	37,854
セグメント利益	4,017	93	4,111	122	4,234

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,111
「その他」の区分の利益	122
セグメント間取引消去	17
固定資産の調整額	41
その他の調整額	△40
四半期連結損益計算書の営業利益	4,252

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	医薬品	情報サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,557	3,225	29,782	1,765	31,548
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	776	776	1,201	1,977
計	26,557	4,001	30,558	2,967	33,526
セグメント利益	1,961	224	2,185	90	2,275

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,185
「その他」の区分の利益	90
セグメント間取引消去	47
固定資産の調整額	20
その他の調整額	△8
四半期連結損益計算書の営業利益	2,334

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「情報サービス事業」につきまして量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては変更後の区分により作成したものを記載しております。

## 3. その他

## (1) 販売実績

当連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業	29,985	84.1	26,557	84.2	△3,428	△11.4
泌尿器科用薬剤	8,947	25.1	4,201	13.3	△4,746	△53.0
腎・透析科用薬剤	5,682	15.9	6,387	20.2	705	12.4
代謝内分泌科用薬剤	4,006	11.2	3,851	12.2	△154	△3.8
産婦人科用薬剤	963	2.7	840	2.7	△122	△12.7
眼科用薬剤	494	1.4	421	1.3	△73	△14.9
その他の薬剤	4,909	13.8	5,061	16.0	152	3.1
ヘルスケア食品	1,866	5.2	1,964	6.2	98	5.3
その他	3,115	8.7	3,827	12.1	712	22.9
情報サービス事業	2,407	6.7	3,225	10.2	817	34.0
報告セグメント計	32,393	90.8	29,782	94.4	△2,610	△8.1
その他の事業	3,271	9.2	1,765	5.6	△1,506	△46.0
合計	35,665	100.0	31,548	100.0	△4,116	△11.5
(うち輸出高)	(3,305)	(9.3)	(3,333)	(10.6)	(28)	(0.9)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。